

うたきの杜たより

第2号 2026.03.07

～インディゴの紹介～

うりずんの季節、春の光の中で小さな藍の種を蒔きました。畑に新しい季節が始まっています。

今月は、藍(インディゴ)のお話です。白髪をヘナで染めたあと、もう少し落ち着いた黒っぽい色にしたいときに使うのがインディゴ。ヘナのあとに、2度染めすることで、自然で深みのある色合いになります。

藍にはいくつか種類があります。日本では蓼藍、琉球藍、インド藍、大青などが知られています。沖縄には琉球藍とインド藍(木藍)があり、私たちが使っているのは豆科のインド藍です。木のように育つので木藍とも呼ばれています。琉球藍は日陰を好み、インド藍は太陽を好む植物。宮古島や八重山の染色の多くにも、このインド藍が使われています。

今年は3月2日に種を蒔きました。芽が出たらポットに移し替え、4月下旬に畑へ植え付けます。夏の太陽をいっぱい浴びて育ち、収穫は8～9月。刈り取った葉は強い日差しの中に置くと自然に発酵が始まるため、収穫は時間との勝負です。この時のことは、その時期にまた書きますね。

今回蒔いたのは、自家採種の種です。木で十分に熟したあと種を取り、硬い殻を軽く割って、一粒ずつ取り出します。静かに祈るような気持ちで向き合う、大切な時間です。

4月頃収穫予定↑

畑では草の肥料やススキチップ、堆肥を入れて土づくりも進めています。「微生物さん、土づくりよろしくね。」と願いを込めて。これから太陽が燦々と降りそそぐ季節になると、藍は驚くほどの速さで成長します。そんな植物の力に励まされながら、日々の仕事を重ねています。

来月も、その時々の様子を書いていきます。

うたきの杜 玉城享子

インディゴ種紹介

殻を割って優しく中の種をとるよ

約2.5cmの種の中にさらに
小さい種が4-5個入っているよ

一か所に3-4粒ずつ植えていくよ

この後大きくなったら畑
に植え替えていくよー
芽が出るの楽しみだ～